

五月八日  
軍司令官  
大島義典

普通

軍參謀長

塔米電五二八号

十一月六日集船人員左ノ如シ

將校二五七名 下士官雜士官ヲ含ム七六九名

兵 三七四名 計 四三〇名

其餘人員八八八名ナリ

(P) 交付 十月二十五日

清州

生 至 急

軍 兵 隊 謀 長

倉 山

(10) 房 付 台 子 兵 隊 中 心

久 電 才 元 年

久 電 才 西 四 号 送

一 從 來 於 此 勤 務 隊 從 事 也 諸 要 作 業 左 如 之

(1) 土 木 建 築 關 係 地 下 之 製 材 水 道 工 事 道 路 及 橋 梁 修 理 防 空 壕 埋 沒 等

(2) 運 搬 關 係 軍 需 品 整 理 外 砂 利 燃 料 等

鮮 人 引 揚 荷 物 等 運 搬

(3) 整 理 作 業 倉 庫 軍 需 品 及 埠 頭 引 揚 荷 物 荷 物 等 整 理

(4) 雜 役 薪 割 便 所 及 下 水 掃 除 炊 事

風 呂 焚 洗 濯 草 刈 等

(5) 埠頭に於ける引揚邦人の消毒

右の内邦人の引揚に關係する作業は(白)の約(白)の  
名及(白)の言(白)者ナリ

三、作業要員の差出人前日指令ナリ其都度禮

々、作業に從事ス。總(白)の言(白)者ハ固意ナリ

四、右、如キ状況ナリ以テ引揚邦人の者ニ付

シ元日本軍隊ナリ要セザル意見ナリ

通電先 京城 大田

釜山 連絡部 長



至急電報

受付 八日 九時五分

陸軍部 参謀長

東京

陸軍部 電五五〇号

非日本人、日本ヨリノ帰還ニ関シ 聯合會

總司令部、週見書(二月一日付)要旨在

如シ?

一本計画、華人、朝鮮人、台湾人、琉球人

帰還ニ関シ 想定ス

二 學生者、帰國者、内地受入事務所へ、移動

計画、立案、正、際、在、依、ル、

- (1) 朝鮮人ハ次ノ順序ニ依リ諸地区ヨリ帰還セムヘシ 門司 下関 博多 地区 大坂 神戸 地区 其外ノ日本地区
- (2) 前項地区ノ帰還順序ハ復元軍人強制ノ方傷者外朝鮮人トス
- (3) 帰国ヲ望ム朝鮮人対シテ日本計画ニ其土キ移動ヲ指示セラルル迄現住所ニ居住セシムベク統制スヘシ

1089

(二) 北日本ニ正華人朝鮮人炭鉱  
 二方務者帰還ニ特ニ優先順序  
 ヲ認ムヘシ 彼等ハ遷トモ一二月一回  
 輸送ヲ開始シ一日一〇〇〇人ノ割合  
 ヲ以テ送還セズヘシ

(ホ) 北支居住華人ハ一月一〇〇〇人ヲ  
 裁ハザル割合ニ於テ之ヲ北支諸港  
 ニ送還スヘシ 中支居住華人ハ  
 一月一〇〇〇人ヲ裁ハザル割合ニテ(上海)



送還スベシ

い北支向船腹ニ余剩アルトキ、朝鮮ニ送還スベシ

り朝鮮人ヲ送還スベシ

い台湾琉球及南支居住所、帰還計

画ハ追テ随テ送還スベシ

三、使用船腹ニ関シテ、日本ノ商船及

艦船ノ斗米率5%ヲ増加使用ス

四、内地港灣ニ左ノ区分ヨリ使用セラル

べし  
仙崎) 朝鮮人ノ出戻処理

博多ノ朝鮮人、華支華人ノ出発処理

鹿兒島 中支華人ノ出発処理 号朝鮮

人、中北支華人ノ出発処理、但し前請港ノ

補助トス

五、厚生省ノ前條受入事務所ノ能力ニ

應ジ帰還者ヲ充満セムベシ

但し超満員トナラザル如ク、箇々息

スベシ

六、日本政府ノ受入事務所ノ混雑ヲ

及不忙專亡苦痛ヲ避え為新納  
ラレオラ通じ衆知セムト苦受入  
事務所へ、移勤が計画セラル  
迄現住所ニ<sup>留</sup>マレトテ歡告スベシ

七厚生省ハLST<sup>2</sup>乗船スルイツネイノ日  
日本人帰国者ニ対シ一日分ノ飯及  
航海日數プラス一日分ノ米ヲ供與ス

通(通)カ先) 米、菜、油、茶<sup>2</sup>ニ<sup>2</sup>フクシ内地各量有也

<sup>2</sup>復司(不)カ  
<sup>2</sup>北支  
次官